

事務事業名	防犯対策事業				担当部	市民生活部	担当課	市民安全課						
実施計画	2	年目												
新基本計画	市政戦略編	分野別計画編	1	安全・環境	2	生活安全	1	防犯意識を高めます						
予算区分	一般会計	款	2	総務費	項	7	市民安全費	目	2	交通防犯対策費	大	4	中	1
根拠法令・個別計画	① 空家等対策の推進に関する特別措置法 ② ③													
目的	何(誰)を対象に	主に、犯罪を未然に防ぐため地域の防犯対策を講じた区や団体、住宅等の防犯対策を講じた市民												
	どのような状態にするか	自主防犯パトロール団体の活動や区の防犯灯の設置・維持管理について、積極的・長期的に支援して、防犯活動や防犯対策の促進を図る。また、自分の身の安全は自分で守るという意識を強くもち、地域と密着しながら防犯意識の高揚を図る。												
手段	どのような事業を実施するか	<p>○自主防犯パトロール隊支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が安全で安心な生活ができるように、市民自らが結成する自主防犯パトロール隊の必要性を呼びかけ、立ち上げ及び継続のための補助を行う。 <p>○防犯灯の設置・維持管理の費用補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区が、夜間、地元の路上等で犯罪が発生しないように防止するため、設置し、維持管理する防犯灯に対し、当該設置費及び修繕料・電気代の補助を行う。 <p>○防犯対策補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅の犯罪被害防止のために設置するセンサーライトなど防犯用品の購入費の補助を行う。 ○青色回転灯装着車による夜間巡回警備委託 ・市が警備会社に委託し、市内を月25日間、20時から翌日4時までの間、青色回転灯装着車2台により巡回警備を行う。※22～24年度は県の緊急雇用事業により実施、25年度からは一般財源。 ○小牧市空家等実態調査等 ・市内における空家等の状況を把握し、その対策を総合的かつ計画的に実施するため計画を定めます。 ○事業者防犯カメラ等設置事業費補助及び地域防犯カメラ設置費補助 ・市内の店舗の駐車場・共同住宅の駐車場・貸し駐車場に設置される防犯カメラ等に対し補助を行う。また、区が公共空間を対象に設置した防犯カメラ等に対し補助を行う。 												
	事業内容	<p>○自主防犯パトロール隊支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が安全で安心な生活ができるように、市民自らが結成する自主防犯パトロール隊(継続69団体)に対し補助を行った。 <p>○防犯灯の設置・維持管理の費用補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区が、夜間、地元の路上等で犯罪が発生しないように防止するため、226灯設置し、維持管理する防犯灯に対し、当該設置費及び修繕料・電気代の補助(9,974灯)を行った。 <p>○防犯対策補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅の犯罪被害防止のために設置するセンサーライトなど防犯用品の購入費の補助を185世帯に対し行った。 ○青色回転灯装着車による夜間巡回警備委託 ・市が警備会社に委託し、市内を月25日間、20時から翌日4時までの間、青色回転灯装着車2台により巡回警備を行った。 ○小牧市空家等実態調査等 ・市内における空家等の状況について実地調査、所有者アンケート調査により363件の空家を判定し、その対策を総合的かつ計画的に実施する小牧市空家等対策計画を定めた。 ○事業者防犯カメラ等設置事業費補助及び地域防犯カメラ設置費補助 ・市内の店舗の駐車場・共同住宅の駐車場・貸し駐車場に設置される防犯カメラ等に対し8件の補助を行った。また、区が公共空間を対象に設置した防犯カメラ等に対し6件の補助を行った。 												
概要	28年度	<p>○自主防犯パトロール隊支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が安全で安心な生活ができるように、市民自らが結成する自主防犯パトロール隊(継続69団体)に対し補助を行った。 <p>○防犯灯の設置・維持管理の費用補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区が、夜間、地元の路上等で犯罪が発生しないように防止するため、226灯設置し、維持管理する防犯灯に対し、当該設置費及び修繕料・電気代の補助(9,974灯)を行った。 <p>○防犯対策補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅の犯罪被害防止のために設置するセンサーライトなど防犯用品の購入費の補助を185世帯に対し行った。 ○青色回転灯装着車による夜間巡回警備委託 ・市が警備会社に委託し、市内を月25日間、20時から翌日4時までの間、青色回転灯装着車2台により巡回警備を行った。 ○小牧市空家等実態調査等 ・市内における空家等の状況について実地調査、所有者アンケート調査により363件の空家を判定し、その対策を総合的かつ計画的に実施する小牧市空家等対策計画を定めた。 ○事業者防犯カメラ等設置事業費補助及び地域防犯カメラ設置費補助 ・市内の店舗の駐車場・共同住宅の駐車場・貸し駐車場に設置される防犯カメラ等に対し8件の補助を行った。また、区が公共空間を対象に設置した防犯カメラ等に対し6件の補助を行った。 												
	29年度	<p>○自主防犯パトロール隊支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が安全で安心な生活ができるように、市民自らが結成する自主防犯パトロール隊に対し補助を行う。 <p>○防犯灯の設置・維持管理の費用補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区が、夜間、地元の路上等で犯罪が発生しないように防止するため設置し、維持管理する防犯灯に対し、当該設置費及び修繕料・電気代の補助を行う。 <p>○防犯対策補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅の犯罪被害防止のために設置するセンサーライトなど防犯用品の購入費の補助を行う。 ○青色回転灯装着車による夜間巡回警備委託 ・市が警備会社に委託し、市内を月25日間、20時から翌日4時までの間、青色回転灯装着車2台により巡回警備を行った。 ○事業者防犯カメラ等設置事業費補助及び地域防犯カメラ設置費補助 ・市内の店舗の駐車場・共同住宅の駐車場・貸し駐車場に設置される防犯カメラ等に対し補助を行う。また、区が公共空間を対象に設置した防犯カメラ等に対し補助を行う。 												
年度別事業内容														

		H28		H29	
		当初予算額	決算額	当初予算額	
事業費	財源内訳 (千円)	合計	124,902	99,090	112,162
		国支出金	4,000	3,998	0
		県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	120,902	95,093	112,162
		特定財源の説明			
事業費	事業費内訳 (千円)	細々節	H28		H29
			当初予算額	決算額	当初予算額
		消耗品費	1,453	529	1,453
		食糧費	96	0	96
		電気料金	36	26	36
		修繕料	400	0	400
		通信運搬費	396	342	396
		保険料	801	630	801
		防犯対策設備保守管理委託料	1,620	1,620	1,480
		防犯対策巡回警備委託料	12,500	11,392	12,500
		空家等対策計画作成委託料	8,000	7,998	0
		小牧防犯協会連合会補助金	3,000	3,000	3,000
		防犯灯設置事業費補助金	14,000	11,097	13,000
		防犯灯維持管理費補助金	60,000	50,879	60,000
		防犯対策補助金	2,500	1,720	2,000
		安全安心まちづくり活動補助金	10,100	7,046	9,000
		防犯カメラ設置費補助金	10,000	2,811	8,000
		従事者数	正職員(人数)	0.65	0.90
その他職員(人数)	0.00		0.00	0.00	

	影響を与える展開方向の指標	単位	目指す方向性	基準値	H26	H27	H28	H29
ステップⅠ	① 防犯に対する備えをしている市民の割合	%	→	38.5	33.5	33.2	52.3	
	② 防犯教室の参加者数	人	→	501	3,320	2,647	6,547	
基本施策の展開方向の指標に対する影響(貢献等)								
H28 実施 結果	自宅に対する防犯設備の補助や自主防犯活動に対する支援をはじめとする補助制度を利用してもらったり、犯罪に地域や警察など関係機関と連携した防犯教室、キャンペーンに参加いただくことで市民の防犯に対する備えの強化につながったと考える。							
業績及び自己評価	事業の成果指標		単位		H26	H27	H28	H29
	①	刑法犯認知件数	件	目標	—	—	—	—
				実績	2,025	1,871	1,767	
	②			目標				
				実績				
	事業の活動指標		単位		H26	H27	H28	H29
	①	防犯パトロール団体(総数)	隊	目標	94	98	96	95
				実績	88	86	85	
	②	防犯講座回数	回	目標	30	30	35	35
				実績	35	30	28	
事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因、今後の見直し								
H28 実施 結果	刑法犯認知件数は引き続き減少する結果となった。市民の防犯意識の向上とともに、犯罪被害が多発した特殊詐欺についても防犯教室等での実例手口等を交えながら注意喚起を行うなど、抑止に向け関係機関が連携した防犯活動を実施した結果と思われる。							
ステップⅢ	要因を踏まえた事業の見直し							
	H28 実施 結果	引き続き切実な被害のおそれのある高齢者の詐欺被害に対する啓発を行うとともに、昨年度に比べ増加した車上狙いなどの犯罪に対し有効な防犯カメラ設置の推進と啓発活動に重点を置いた事業展開を図る。防犯灯については今後の補助のあり方について平成29年度中にまとめる。						

一次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	維持	
	事業の方向性	維持	防犯灯の設置に関し方針を定めることにより、コスト比較の結果によっては削減が図れるものの、検討段階であるため現時点では更なる犯罪防止に向け施策を推進する意味から維持の方向とする。
	実施ヒアリング実施要否	不要	
	事業の位置づけ	実施計画事業として継続	

二次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	維持	
	事業の位置づけ	実施計画事業として継続	
	事業の方向性	維持	一次評価のとおり。
	実施ヒアリング実施要否	不要	
	事業の位置づけ	実施計画事業として継続	